職域におけるHIV感染症に関する知識の普及啓発の促進に向けた研究 -インターネットによる調査及び健診センターの産業保健従事者に対する啓発-

研究分担者 石丸 知宏 産業医科大学 医学部 医学概論 准教授

研究要旨

我が国において、HIV感染とエイズに関する啓発が特に特定のリスク層に偏っており、一般市民に正確な情報が行き渡っていない可能性がある。そのため、一般市民に対する正確な情報普及の重要性が高まっているが、現在の状況に関する情報が不足している。本研究の目的は、一般市民のHIV感染症・エイズの知識普及度を評価し、啓発資料の配布による効果を検証することである。

本研究は18歳以上のインターネット調査会社に登録している者を対象とする前向き介入研究である。無作為に選ばれた7,020人に対して、3回の調査が行われた：ベースライン調査（第1回目：2023年11月1日）、介入調査（第2回目、介入群のみ：2023年12月1日）、フォローアップ調査（第3回目：2024年1月5日）。介入群（A群とB群）と対照群（C群）が設定され、A群にはHIV感染症に関する資料が、B群には差別と偏見に関する資料が閲覧させられた。

参加者の平均年齢は54.1歳であり、男性と女性の割合はそれぞれ56.0%と44.0%だった。HIVとエイズは関係ないと思う者の割合は10.4%、エイズを死に至る病と認識する者の割合は47.4%、無防備な性行為が主要な感染原因であると正しく理解する者の割合は86.1%、保健所で匿名かつ無料で受けることができることを知っていた者の割合は36.0%であった。介入調査において、知識資料の閲覧に関して、A群とB群の参加者のうち20%以上が資料を閲覧しなかった。また、教育資料を職場で配布してほしいと思う割合は、A群で8.4%、B群で7.4%であった。フォローアップ調査において、感染症の知識、差別や偏見に関する認識に関して、A群とB群において感染症の知識に関する質問項目で2-3%の改善が見られたが、対照群のC群でも同様の変化が見られた。

本研究結果から、HIV感染症・エイズに関する正しい知識は一部普及しているものの、保健所の役割についての誤った認識が増加傾向にあることが明らかになった。また、知識資料の受け入れには一般市民の関心にばらつきがあり、資料配布だけでは効果が限定的であることが示唆された。そのため、HIV感染症・エイズの正しい知識の普及と感染拡大の予防には包括的な戦略と持続的な取り組みが必要であると言える。

A. 研究背景

我が国のエイズ動向は、個別施策層（男性同性愛者、性風俗従事者、薬物中毒者、青少年、外国人など）を中心に新規HIV感染者・エイズ患者が報告されている。これまで感染者の大半を占める男性同性愛者への予防対策を充実させることで報告数は平成20年の約1,500件をピークに近年は約1,000件まで減少してきた。その一方で、昨今の梅毒をはじめとする性感染症の流行を踏まえると、個別施策層以外にもHIV感染症が水面下で広がっている可能性がある。そのため、個別施策層だけでなく、一般市民

においても正しい知識を持つ必要ことが重要である。

我が国の一般市民を対象とした大規模疫学調査（内閣府広報室、2018、HIV感染症・エイズに関する世論調査）は2018年を最後に実施されておらず、新型コロナウイルス感染症流行以降の傾向はよくわかっていない。一般市民のHIV感染症・エイズの知識は長らくアップデートされておらず、そのことがHIV感染者に対する偏見・差別につながり、ひいては自らの健康問題として感染予防を適切に行うことを阻害している可能性がある。また、これらの問題は既

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

存の啓発資料を活用することで改善できる可能性があるが、その効果はほとんど検証されていない。

本研究の目的は、調査対象者におけるHIV感染症・エイズの知識普及度を評価し、啓発資料を配布することによる介入効果を検証することである。本研究により、適切なHIV感染症・エイズの知識普及と啓発に関するエビデンスが得られ、エイズ対策を強化し、感染拡大の防止や感染者への理解を促進することへの活用が期待される。

B. 研究方法

本研究はインターネット調査会社にモニター登録している18歳以上の者を対象とし、HIV感染症・エイズに関する知識普及度と啓発資料による介入効果の評価を目的とする介入を伴う前向き研究である。

インターネット調査会社が保有するパネル参加者395万人のうち、調査時点で18歳以上の者を対象とした。先行調査（内閣府広報室、2018、HIV感染症・エイズに関する世論調査）に準じて、居住地域の都道府県と都市規模で区分した65層に対し、平成28年1月1日の18歳以上人口で標本数を比例配分して、無作為抽出した33,554人に対して調査依頼を送付し、同意の得られた7,020人を対象とした。

本研究は、ベースライン調査（1回目：2023年11月1日）、ベースライン調査の約1ヶ月後に実施する介入調査（2回目、介入群のみ：2023年12月1日）、ベースライン調査の2ヶ月後に実施するフォローアップ調査（3回目：2024年1月5日）の計3回の調査で構成した。ベースライン調査（1回目）でHIV感染症・エイズに関する知識普及度を評価し、介入調査（2回目、介入群のみ）で介入の実施、フォローアップ調査（3回目）で介入の効果を検証した。

介入を2群（A群：2,339人、B群：2,336人）、対照群を1群（C群：2,345人）設定した。A群には「HIV感染症の特性や検査に関する資料（公益財団法人エイズ予防財団、HIV感染症・エイズ）」、B群には「HIV感染症に対する差別・偏見に関する資料（特定非営利活動法人ふれいす東京、職場とHIV/エイズ）」を閲覧させた。C群は対照群として資料の閲覧は行わなかった。

ベースライン調査（1回目）およびフォローアップ調査（3回目）での質問票から得られる回答は、①年代、②性別、③婚姻、④学歴、⑤仕事内容、⑥業種、⑦同居家族人数、⑧世帯年収、⑨HIVとエイズの関係の認識、⑩エイズの印象、⑪HIV感染の原因、⑫HIV・エイズの最新情報の認知度、⑬HIVに感染したと思った場合の行動、⑭保健所での匿名無料のHIV検査の認知度、⑮過去のHIV検査受検の有無、⑯HIV検査受検の時期、⑰HIV検査受検の意欲、⑱職域HIV検査受検の意欲、⑲職域でのHIV啓発資料の配布希望、⑳HIVに感染している同僚からの感染の不安、㉑HIVに感染している同僚に対する差別、㉒HIVに感染している同僚に対する偏見、とした。

介入調査（2回目、介入群のみ）での質問票から得られる回答は、①年代、②性別、③HIV啓発資料を読むのに要した時間（ログデータ）、④HIV啓発資料を読むのに要した時間（問診データ）、⑤HIV啓発資料の理解度、⑥職域でのHIV啓発資料の配布希望、とした。

統計解析として、各設問とABC群とのクロス集計を行い、回答の数と割合を算出した。また、ベースライン調査（1回目）とフォローアップ調査（3回目）に回答した者における介入前後での各項目の変化割合を各群で算出した。

本研究は、本研究は、産業医科大学倫理委員会の承認を得て実施した（受付番号ER23-032）。

C. 研究結果

ベースライン調査（1回目）の参加者7,020人（A群：2,339人、B群：2,336人、C群：2,345人）のうち、介入調査（2回目）に参加したのがA群2,125人、B群2,122人であった。そのうち、無作為抽出した4,644人（A群1,513人、B群1,530人、C群1,601人）に対して、フォローアップ調査（3回目）を行い、3,254人（A群：1,086人、B群：1,084人、C群：1,084人）から回答が得られた。

1. ベースライン調査（1回目）

①年代

平均年齢は54.1歳で、中央値は55歳であ

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

った。最も多かったのは50代から59歳の年齢層で、1,944人（27.7%）であった。60代から69歳の層が次いで多く、1,599人（22.8%）であった。

②性別

男性が3,934人（56.0%）で、女性が3,086人（44.0%）であった。

③婚姻

現在結婚している人が4,580人（65.2%）で最も多く、離別や死別が745人（10.6%）、未婚が1,695人（24.1%）であった。

④学歴

大学卒業者が最も多く、2,828人（40.3%）であった。高校卒業者が2,174人（31.0%）、専門学校卒業者が813人（11.6%）と続いた。

⑤仕事内容

会社勤務（一般社員）が1,540人（21.9%）で最も多く、パート・アルバイトが1047人（14.9%）、専業主婦・主夫が999人（14.2%）と続いた。

⑥業種

最も多いのは製造業で760人（16.3%）、次いで卸売業・小売業が521人（11.2%）であった。

⑦同居家族人数

1人が2,311人（32.9%）で最も多く、次いで2人が1,494人（21.3%）であった。0人の家族が1,137人（16.2%）であった。

⑧世帯年収

最も多かったのは200万円未満の層で1,027人（14.6%）であった。1000万円以上も736人（10.5%）と一定数存在した。

⑨HIVとエイズの関係の認識

関係ないと思う人が10.4%である一方で、同じと思う人が37.1%、違うものであることはわかるが詳しくは知らないと答えた人が23.1%、正しく理解していると答えた人が21.4%であった。また、HIVとエイズについて全く知らないと答えた人も8.1%い

た。

⑩エイズの印象

半数以上の人々がエイズを死に至る病と認識しており、47.4%がそのように回答した。また、原因不明で治療法がないと考える人も23.8%いた。一方で、特定の人達にだけ関係のある病気と考える人や、毎日大量の薬を飲む必要があると思う人もそれぞれ15.9%と11.7%であった。

⑪HIV感染の原因

無防備な性行為が主要な原因であると正しく理解する人が86.1%で最も多かった。一方で、握手や軽いキス、お風呂に一緒に入るなどの日常的な接触が感染の原因だと誤解している人も一部存在した。

⑫HIV・エイズの最新情報の認知度

適切な治療を行えば他人への感染危険性を減少させることができることを知っている人が28.2%で最も多く、また、治療薬は1日1回1錠の服薬で済むことを知っている人も7.7%で一定数いた。しかし、全体の29.7%が何も知らないと回答した。

⑬HIVに感染したと思った場合の行動

HIV感染の可能性を感じた場合の行動について、診療所や病院で相談することを選ぶ人が最も多かった（30.0%）。次に、保健所などの相談窓口で相談する人が15.8%で、診療所や病院で検査を受ける人が23.8%だった。一方で、何もしない人も1.3%いた。

⑭保健所での匿名無料のHIV検査の認知度

HIV検査に関する知識については、全体の36.0%が全国の保健所で匿名かつ無料で受けることができることを知っていた。

⑮過去のHIV検査受検の有無

8.6%の人が「はい」と回答し、87.0%が「いいえ」と回答した。また、3.5%が「わからない」、0.9%が「答えたくない」と回答した。

⑯HIV検査受検の時期

上記⑮で「はい」と回答した者のうち、

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

73.8%が3年以上前に検査を受けたと回答した。

⑰HIV検査受検の意欲

HIVの検査を受けたいと思う・やや思う人は1,220人（17.4%）であった。

⑱職域HIV検査受検の意欲

職場でHIVの検査を受けたいと思う・やや思う人は1859人（26.5%）であった。

⑲職域でのHIV啓発資料の配布希望

456人（6.5%）が職場でHIVやエイズの啓発資料を配布してほしいと回答した。

⑳HIVに感染している同僚からの感染の不安

557人（7.9%）が一緒に仕事をしている人がHIVに感染していたら、自分に感染するのではないかと不安に思うと回答した。

㉑HIVに感染している同僚に対する差別

662人（9.4%）が一緒に仕事をしている人がHIVに感染していたら、なるべく接触しないようにしようと思うと回答した。

㉒HIVに感染している同僚に対する偏見

514人（7.3%）が一緒に仕事をしている人がHIVに感染していたら、同性愛者・不特定多数との性交渉者・薬物中毒者ではないか等、誤った偏見の目で見えてしまうと思うと回答した。

2. 介入調査（2回目）

①年代

A群とB群の平均年齢はほぼ同じで、約55歳であった。

②性別

両群で男女比はほぼ同等で、おおよそ男性が57.8%（A群）と58.0%（B群）であった。

③HIV啓発資料を読むのに要した時間（ログデータ）

A群とB群の間にはPDFクリックから次のページボタン押下までの平均時間に差があり、A群の平均時間は37.4秒で、B群は27.9

秒であった。また、どちらの群でもログデータ未取得の割合は20%以上であった。

④HIV啓発資料を読むのに要した時間（問診データ）

HIV啓発資料を2-3分で読了した割合が最も高く、A群が37.4%、B群が37.6%であった。読んでいない割合はA群が18.2%、B群が19.0%であった。

⑤HIV啓発資料の理解度

A群では理解できた割合が12.9%で、B群では10.5%であった。少し理解できた割合はA群が50.1%、B群が51.5%で、あまり理解できなかった割合はA群が18.6%、B群が20.0%であった。

⑥職域でのHIV啓発資料の配布希望

職場でこのような啓発資料を配布してほしいと思う割合がA群8.4%、B群7.4%で、やや思う割合がA群27.6%、B群27.9%で、あまり思わない割合がA群29.2%、B群30.2%であった。

3. フォローアップ調査（3回目）

⑨HIVとエイズの関係の認識

A群では、関係ないと思っていた人々の割合が0.3%減少し（Before: 10.0%、After: 9.7%）、正しく理解していた人々の割合が0.3%増加した（Before: 21.8%、After: 22.1%）。B群では、同じことを意味すると思っていた人々の割合が1.2%増加し（Before: 35.5%、After: 36.7%）、正しく理解していた人々の割合が1.3%増加した（Before: 21.8%、After: 22.1%）。C群では、違うものであることはなんとなく知っていたが詳しくはわからなかった人々の割合が3.9%増加し（Before: 24.2%、After: 28.1%）、正しく理解していた人々の割合が0.7%増加した（Before: 20.9%、After: 21.6%）。

⑩エイズの印象

A群では、死に至る病であるという印象が4.6%減少し（Before: 48.2%、After: 43.6%）、毎日大量の薬を飲まなければならないという印象が2.5%増加した（Before:

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

12.2%、After: 14.7%)。B群では、同様に死に至る病であるという印象が5.4%減少し (Before: 49.9%、After: 44.5%)、毎日大量の薬を飲まなければならないという印象が2.2%増加した (Before: 10.9%、After: 13.1%)。C群でも、死に至る病であるという印象が3.0%減少し (Before: 44.6%、After: 41.6%)、毎日大量の薬を飲まなければならないという印象が2.3%増加した (Before: 11.8%、After: 14.1%)。

⑪HIV感染の原因

3つの群体全てで、無防備な性行為がHIV感染の主要な原因としてより認識され、以下の通だった：A群 (Before: 86.0%、After: 88.0%)、B群 (Before: 85.7%、After: 87.5%)、C群 (Before: 85.1%、After: 86.0%)。

⑫HIV・エイズの最新情報の認知度

全ての群体で、適切な治療を行えば、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができるという認識が増加し、以下の通だった：A群 (Before: 28.1%、After: 31.4%)、B群 (Before: 29.6%、After: 32.7%)、C群 (Before: 30.8%、After: 33.5%)。

⑬HIVに感染したと思った場合の行動

A群では、診療所や病院で相談する割合が6.4%減少し、診療所や病院で検査を受ける割合も1.2%減少した。B群とC群でも同様の傾向が見られた：診療所や病院で相談する (Before: A群 72.8%、B群 72.1%、C群 71.5% ; After: A群 66.4%、B群 66.1%、C群 65.4%)、診療所や病院で検査を受ける (Before: A群 70.5%、B群 70.3%、C群 70.2% ; After: A群 69.3%、B群 69.0%、C群 68.8%)。

⑭保健所での匿名無料のHIV検査の認知度

全ての群で、HIV検査が全国の保健所で匿名かつ無料で受けることができることを知っている人々の割合が増加し、以下の通りだった：A群 (Before: 65.7%、After: 68.3%)、B群 (Before: 63.5%、After: 66.1%)、C群 (Before: 64.8%、After: 67.2%)。

⑮過去のHIV検査受検の有無

A群では、HIV検査を受けた経験がある割合が前回の調査時においては46.7%であったこの割合が、今回の調査では49.3%に上昇した。同様に、B群でも前回調査では45.8%であったが、今回調査では48.0%に増加した。一方、C群では前回の調査時におけるHIV検査経験者の割合が前回の48.5%から、今回の調査では47.1%に減少した。

⑯HIV検査受検の時期

A群では、1年未満の間隔でHIV検査を受けた人々の割合が前回調査では8.0%であったが、今回の調査では7.4%に減少した。一方、1年から3年未満の間隔でHIV検査を受けた人々の割合は前回調査時においては6.0%であったが、今回の調査では10.2%に増加した。3年以上前にHIV検査を受けた人々の割合は、A群では若干減少した。前回調査では81.0%であったが、今回の調査では79.6%に減少した。

B群およびC群においても、同様の傾向が一部見られました。1年から3年未満の間隔でのHIV検査受検意向が増加し、3年以上前に受検した割合は若干減少した。

⑰HIV検査受検の意欲

A群では、HIV検査を受けたいという意欲が前回調査では4.2%であったこの意欲が、今回の調査では4.5%に若干上昇した。B群では、前回調査では3.6%で、今回の調査でも3.1%と若干減少した。C群では、HIV検査を受けたいという意欲が前回調査では3.9%であったが、今回の調査では3.1%に減少しました。

⑱職域HIV検査受検の意欲

A群では、職場でのHIV検査を受けたいという意欲が前回調査では6.1%であったこの意欲が、今回の調査では6.4%にわずかに上昇した。B群では、職場でのHIV検査受検の意欲に大きな変化は見られず、前回調査では5.5%であり、今回の調査でも5.4%とほぼ変わりがなかった。C群でも、職場でのHIV検査を受けたいという意欲に顕著な変化はなく、前回調査では5.7%であったが、今回の調査では5.7%にほぼ変わらなかった。

⑱職域でのHIV啓発資料の配布希望

A群では、職場でのHIV啓発資料の配布希望が前回調査では6.2%であったが、今回の調査では6.6%に若干上昇しました。B群でも、同様に職場でのHIV啓発資料の配布希望が前回調査では6.2%であったが、今回の調査では6.5%に若干増加した。C群でも、職場でのHIV啓発資料の配布希望が前回調査では5.9%であったが、今回の調査では7.0%に増加した。

⑳HIVに感染している同僚からの感染の不安

A群では、HIVに感染している同僚からの感染の不安において特筆すべき変化は見られず、前回調査では7.1%であり、今回の調査でも6.9%とほぼ変わらなかった。B群でも、同様にHIVに感染している同僚からの感染の不安において大きな変化はありませんでした。前回調査では8.7%であり、今回の調査でも8.7%とほぼ変わらなかった。一方で、C群では、HIVに感染している同僚からの感染の不安が前回調査では8.0%であったが、今回の調査では6.8%に減少した。

㉑HIVに感染している同僚に対する差別

A群では、HIVに感染している同僚に対する差別意識が前回調査では8.5%であったがこの差別意識が、今回の調査では8.3%にわずかに下がった。一方で、B群では、前回調査では11.0%であったが、今回の調査では11.8%に上昇した。C群でも、HIVに感染している同僚に対する差別意識が、前回調査の8.9%でから、今回の調査では10.1%に上昇した。

㉒HIVに感染している同僚に対する偏見

A群では、HIVに感染している同僚に対する偏見に特筆すべき変化はなく、前回調査では7.3%であり、今回の調査でも7.1%とほぼ変わらなかった。B群でも、同様にHIVに感染している同僚に対する偏見において大きな変化はなく、前回調査で7.7%、今回の調査でも7.7%であった。C群では、HIVに感染している同僚に対する偏見が、前回調査

では9.1%であったが、今回の調査では6.8%に減少した。

D. 考察

本研究のベースライン調査（1回目）と先行調査（内閣府広報室，2018，HIV感染症・エイズに関する世論調査）を比較すると、HIV感染症・エイズに関する正しい知識は2023年の一般市民において若干普及していることが示唆された。具体的には、HIVとエイズは関係ないと思う者の割合は先行研究で11.3%、本研究で10.4%とやや減少傾向にあった。エイズを死に至る病と認識する者の割合は先行研究で52.1%、本研究で47.4%とやや減少傾向にあった。無防備な性行為が主要な感染原因であると正しく理解する者の割合は先行研究で85.3%、本研究で86.1%とやや増加傾向にあった。その一方で、保健所の担う役割についてはむしろ理解している者の割合がむしろ低下している傾向がみられた。具体的には、保健所で匿名かつ無料で受けることができることを知っていた者の割合は先行研究で52.0%、本研究で36.0%と減少傾向にあった。新型コロナウイルス感染症や梅毒などの感染症の流行は、HIVに対してもその正しい感染知識に寄与した可能性がある一方で、保健所が担う役割に関し、一層の啓発が求められる。

本研究の介入調査（2回目）において、A群とB群における知識資料の閲覧に関するデータから明らかになった点は、知識資料の閲覧時間に差があるものの、両群とも20%以上が資料を閲覧しなかったことである。また、職場でHIVに関するHIVの啓発資料を配布してほしいと思う割合はA群で9.5%、B群で7.4%と一割未満であった。これは、参加者の資料へのアクセスや関心にはばらつきがあることに起因していると考えられ、一般市民のHIVの啓発資料の受け入れに課題があることを示唆している。

フォローアップ調査（3回目）においては、知識資料の閲覧とその後の認識や行動について評価した。結果として、A群とB群においてHIVおよびエイズに関する正しい認識が若干向上し、エイズに対する印象も一部変化が見られた。しかし、これは非介入のC群においても同様の傾向がみられて

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

ベースライン調査（0ヶ月後）

①あなたの年齢をお知らせください。

	度数	%
18-19歳	40	0.6%
20-29歳	327	4.7%
30-39歳	801	11.4%
40-49歳	1295	18.4%
50-59歳	1944	27.7%
60-69歳	1599	22.8%
70歳以上	1014	14.4%
平均値	54.1	
中央値	55	
標準偏差	14.00	

②あなたの性別をお知らせください。

	度数	%
男性	3934	56.0%
女性	3086	44.0%

③あなたの婚姻状況をお知らせください。

	度数	%
現在結婚している	4580	65.2%
離別、死別	745	10.6%
未婚（過去に結婚したことがない）	1695	24.1%

④あなたの学歴（最後に卒業した学校）を教えてください。

	度数	%
中学校	194	2.8%
高校	2174	31.0%
専門学校	813	11.6%
短大・高専	764	10.9%
大学	2828	40.3%
大学院	247	3.5%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

⑤現在のお仕事の状況を1つ選んでくだ

さい。

	度数	%
会社勤務（一般社員）	1540	21.9%
会社勤務（管理職）	377	5.4%
会社経営（経営者・役員）	161	2.3%
公務員・教職員・非営利団体職員	346	4.9%
派遣社員・契約社員	474	6.8%
自営業（商工サービス）	348	5.0%
SOHO	67	1.0%
農林漁業	52	0.7%
専門職（弁護士・税理士等・医療関連）	159	2.3%
その他の職業	101	1.4%
パート・アルバイト	1047	14.9%
専業主婦・主夫	999	14.2%
学生	96	1.4%
無職	1253	17.8%

⑥あなたの勤務先の業種にもっとも近いものを教えてください。

	度数	%
公務	246	5.3%
製造業	760	16.3%
医療・福祉	432	9.2%
卸売業・小売業	521	11.2%
宿泊業・飲食サービス業	112	2.4%
建設業	234	5.0%
情報通信業	248	5.3%
運輸業・郵便業	288	6.2%
電機・ガス・熱供給・水道業	51	1.1%
金融業・保険業	177	3.8%
不動産業・物品賃貸業	120	2.6%
教育・学習支援業	252	5.4%
学術研究・専門・技術サービス	124	2.7%
農業・林業・漁業	65	1.4%
鉱業	3	0.1%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

生活関連サービス業・娯楽業	160	3.4%
その他サービス業	696	14.9%
分類不能の産業	183	3.9%

⑦あなたと同居する家族は何人ですか？（あなたを除く）

	度数	%
0人	1137	16.2%
1人	2311	32.9%
2人	1494	21.3%
3人	1216	17.3%
4人	570	8.1%
5人	198	2.8%
6人以上	94	1.3%

⑧あなたの世帯年収（額面、税引き前）はいくらですか？

	度数	%
200万円未満	1027	14.6%
200～299万円	735	10.5%
300～399万円	1027	14.6%
400～499万円	885	12.6%
500～599万円	786	11.2%
600～699万円	613	8.7%
700～799万円	531	7.6%
800～899万円	395	5.6%
900～999万円	285	4.1%
1000万円以上	736	10.5%

⑨HIVとエイズについてどのように理解していましたか。この中から1つだけお答えください。

	度数	%
関係ないものだと思っていた	729	10.4%
同じことを意味すると思っていた	2601	37.1%
違うものであることはなんとなく知っていたが、詳しくはわからなかった	1624	23.1%
正しく理解していた	1499	21.4%
わからない	567	8.1%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

⑩あなたはエイズについてどのような印象をお持ちですか。あてはまるものをいくつかあげてください。

	度数	%
死に至る病である	3324	47.4%
原因不明で治療がない	1674	23.8%
特定の人だけにだけ関係のある病気である	1114	15.9%
毎日大量の薬を飲まなければならない	821	11.7%
仕事や学業など、通常の社会生活はあきらめなければならない	486	6.9%
どれにもあてはまらず、不治の特別な病だとは思っていない	1159	16.5%
その他	274	3.9%
わからない	865	12.3%

⑪HIV感染者から、HIVが感染する原因は何だと思えますか。この中からいくつかあげてください。

	度数	%
握手	83	1.2%
軽いキス	1120	16.0%
無防備な性行為	6046	86.1%
かみそりや歯ブラシの共用	3646	51.9%
お風呂に一緒に入る	418	6.0%
トイレの共用	242	3.4%
ペットボトル飲料の回し飲み	1028	14.6%
注射器の回し打ち	5103	72.7%
蚊の媒介	1540	21.9%
授乳	1495	21.3%
その他	165	2.4%
わからない	445	6.3%

⑫HIV・エイズに関する情報に関して、知っているものをこの中からいくつかあげてください。

	度数	%
治療薬には1日1回1錠の服薬で済むものもある	538	7.7%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

薬の副作用はほとんどなく、通常の社会生活を送ることができる	717	10.2%
適切な治療を行えば、HIVに感染しても、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができる	1808	25.8%
適切に治療することにより、他の人へ感染させる危険性を減らすことができる	1982	28.2%
治療方法は進歩しているが、完治させることはできず、薬を飲み続けなければならない	1766	25.2%
全て知らない	2084	29.7%
その他	22	0.3%
わからない	1363	19.4%

⑬もし仮に、あなたご自身が HIV に感染したかもしれないと思った場合、どのような行動をとると思いますか。

	度数	%
診療所や病院で相談する	2109	30.0%
保健所などの相談窓口で相談する	1109	15.8%
診療所や病院で検査を受ける	1674	23.8%
保健所で検査を受ける	973	13.9%
民間協力団体（NGO・ボランティア）の相談窓口に相談する	151	2.2%
何もしない	90	1.3%
その他	24	0.3%
わからない	890	12.7%

⑭ HIV 検査は全国の保健所において、匿名でまた、無料で受けることができることを知っていますか。

	度数	%
知っている	2529	36.0%
知らない	4491	64.0%

⑮ これまでにあなたは HIV 検査を 1 度でも受けたことがありますか。

	度数	%
はい	604	8.6%
いいえ	6107	87.0%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

わからない	249	3.5%
答えたくない	60	0.9%

⑩あなたが HIV 検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。

	度数	%
1 年未満	63	10.4%
1～3 年未満	67	11.1%
3 年以上前	446	73.8%
わからない	22	3.6%
答えたくない	6	1.0%

HIV 検査や職場での HIV やエイズに対する意識について、あなたの考えに最もあてはまるものをお答えください。

	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	わからない
⑪HIV の検査を受けたい（費用の負担は考慮しないで答え下さい）	310 4.4%	910 13.0%	2311 32.9%	3042 43.3%	447 6.4%
⑫職場の健診で、HIV の血液検査を実施してほしい（費用の負担は考慮しないで答えください）	447 6.4%	1412 20.1%	2096 29.9%	2467 35.1%	598 8.5%
⑬職場で HIV やエイズの啓発資料を配布してほしい	456 6.5%	1879 26.8%	2254 32.1%	1843 26.3%	588 8.4%
⑭一緒に仕事をしている人が HIV に感染していたら、自分に感染するのではないかと不安に思う	557 7.9%	1926 27.4%	2233 31.8%	1821 25.9%	483 6.9%
⑮一緒に仕事をしている人が HIV に感染していたら、なるべく接触しないようにしようと思う	662 9.4%	2150 30.6%	2113 30.1%	1525 21.7%	570 8.1%
⑯一緒に仕事をしている人が HIV に感染していたら、同性愛者・不特定多数との性交渉者・薬物中毒者ではないか等、誤った偏見の目で見てしまうと思う	514 7.3%	2312 32.9%	2103 30.0%	1470 20.9%	621 8.8%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

介入調査（1ヶ月後）

①あなたの年齢をお知らせください。

い。

	Total		A 群		B 群	
	度数	%	度数	%	度数	%
n(Total)	4247	100.0%	2125	100.0%	2122	100.0%
18-19 歳	16	0.4%	7	0.3%	9	0.4%
20-29 歳	175	4.1%	87	4.1%	88	4.1%
30-39 歳	439	10.3%	212	10.0%	227	10.7%
40-49 歳	771	18.2%	392	18.4%	379	17.9%
50-59 歳	1203	28.3%	609	28.7%	594	28.0%
60-69 歳	1003	23.6%	496	23.3%	507	23.9%
70 歳以上	640	15.1%	322	15.2%	318	15.0%
平均値	54.8		54.9		54.7	
中央値	56		56		56	
標準偏差	13.70		13.61		13.80	

②あなたの性別をお知らせください。

い。

	Total		A 群		B 群	
	度数	%	度数	%	度数	%
男性	2456	57.8%	1232	58.0%	1224	57.7%
女性	1791	42.2%	893	42.0%	898	42.3%

③PDF クリックから次のページボタン押下までの時間（秒）

	A 群	B 群
n(Total)	2125	2122
ログデータ未取得	20.8%	21.6%
平均値	37.4	27.9
中央値	9	10
標準偏差	173.20	69.83

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

④あなたは啓発資料をどのくらい時間をかけて読みましたか。

	Total		A 群		B 群	
	度数	%	度数	%	度数	%
読んでいない	772	18.2%	368	17.3%	404	19.0%
1分未満	1064	25.1%	506	23.8%	558	26.3%
2-3分	1588	37.4%	791	37.2%	797	37.6%
5分	618	14.6%	345	16.2%	273	12.9%
10分	142	3.3%	79	3.7%	63	3.0%
15分以上	63	1.5%	36	1.7%	27	1.3%

⑤あなたは啓発資料の内容を理解できましたか。

	Total		A 群		B 群	
	度数	%	度数	%	度数	%
理解できた	548	12.9%	326	15.3%	222	10.5%
少し理解できた	2128	50.1%	1035	48.7%	1093	51.5%
あまり理解できなかった	792	18.6%	367	17.3%	425	20.0%
理解できなかった	217	5.1%	108	5.1%	109	5.1%
わからない	562	13.2%	289	13.6%	273	12.9%

⑥あなたは職場でこのような啓発資料を配布してほしいと思いますか。

	Total		A 群		B 群	
	度数	%	度数	%	度数	%
思う	357	8.4%	201	9.5%	156	7.4%
やや思う	1171	27.6%	578	27.2%	593	27.9%
あまり思わない	1241	29.2%	601	28.3%	640	30.2%
思わない	666	15.7%	341	16.0%	325	15.3%
わからない	812	19.1%	404	19.0%	408	19.2%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

ベースライン調査（0ヶ月後）とフォローアップ調査（2ヶ月後）の比較

⑨HIVとエイズについてどのように理解していましたか。この中から1つだけお答えください。

	A群 Before			A群 After			B群 Before			B群 After			C群 Before			C群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
関係ないものだと思っていた	109	10.0%		105	9.7%	-0.3%	132	12.2%		105	9.7%	-2.5%	107	9.9%		86	7.9%	-2.0%
同じことを意味すると思っていた	386	35.5%		399	36.7%	1.2%	406	37.5%		405	37.4%	-0.1%	404	37.3%		366	33.8%	-3.5%
違うものであることはなんとなく知っていたが、詳しくはわからなかった	260	23.9%		279	25.7%	1.8%	255	23.5%		286	26.4%	2.9%	262	24.2%		305	28.1%	3.9%
正しく理解していた	237	21.8%		240	22.1%	0.3%	201	18.5%		215	19.8%	1.3%	227	20.9%		234	21.6%	0.7%
わからない	94	8.7%		63	5.8%	-2.9%	90	8.3%		73	6.7%	-1.6%	84	7.7%		93	8.6%	0.9%

⑩あなたはエイズについてどのような印象をお持ちですか。あてはまるものをこの中からいくつでもあげてください。

	A群 Before			A群 After			B群 Before			B群 After			C群 Before			C群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
死に至る病である	523	48.2%		474	43.6%	-4.6%	541	49.9%		482	44.5%	-5.4%	484	44.6%		451	41.6%	-3.0%
原因不明で治療法がない	218	20.1%		229	21.1%	1.0%	267	24.6%		244	22.5%	-2.1%	269	24.8%		251	23.2%	-1.6%
特定の人達にだけ関係のある病気である	170	15.7%		158	14.5%	-1.2%	166	15.3%		153	14.1%	-1.2%	184	17.0%		159	14.7%	-2.3%
毎日大量の薬を飲まなければならない	132	12.2%		160	14.7%	2.5%	118	10.9%		142	13.1%	2.2%	128	11.8%		153	14.1%	2.3%
仕事や学業など、通常の社会生活はあきらめなければならない	79	7.3%		72	6.6%	-0.7%	73	6.7%		68	6.3%	-0.4%	57	5.3%		53	4.9%	-0.4%
どれもあてはまらず、不治の特別な病だとは思っていない	197	18.1%		233	21.5%	3.4%	161	14.9%		207	19.1%	4.2%	173	16.0%		220	20.3%	4.3%
その他	42	3.9%		34	3.1%	-0.8%	23	2.1%		34	3.1%	1.0%	51	4.7%		42	3.9%	-0.8%
わからない	123	11.3%		123	11.3%	0.0%	146	13.5%		142	13.1%	-0.4%	138	12.7%		135	12.5%	-0.2%

⑪HIV感染者から、HIVが感染する原因は何だと思えますか。

	A群 Before			A群 After			B群 Before			B群 After			C群 Before			C群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
握手	12	1.1%		18	1.7%	0.6%	15	1.4%		17	1.6%	0.2%	13	1.2%		21	1.9%	0.7%
軽いキス	177	16.3%		183	16.9%	0.6%	177	16.3%		198	18.3%	2.0%	171	15.8%		178	16.4%	0.6%
無防備な性行為	934	86.0%		956	88.0%	2.0%	929	85.7%		948	87.5%	1.8%	922	85.1%		932	86.0%	0.9%
かみそりや歯ブラシの共用	590	54.3%		639	58.8%	4.5%	556	51.3%		635	58.6%	7.3%	551	50.8%		594	54.8%	4.0%
お風呂に一緒に入る	67	6.2%		70	6.4%	0.2%	62	5.7%		72	6.6%	0.9%	72	6.6%		71	6.5%	-0.1%
トイレの共用	38	3.5%		42	3.9%	0.4%	39	3.6%		50	4.6%	1.0%	50	4.6%		52	4.8%	0.2%
ペットボトル飲料の回し飲み	173	15.9%		178	16.4%	0.5%	161	14.9%		207	19.1%	4.2%	164	15.1%		193	17.8%	2.7%
注射器の回し打ち	829	76.3%		856	78.8%	2.5%	758	69.9%		823	75.9%	6.0%	763	70.4%		814	75.1%	4.7%
蚊の媒介	271	25.0%		277	25.5%	0.5%	231	21.3%		280	25.8%	4.5%	224	20.7%		259	23.9%	3.2%
授乳	239	22.0%		306	28.2%	6.2%	232	21.4%		274	25.3%	3.9%	218	20.1%		284	26.2%	6.1%
その他	22	2.0%		25	2.3%	0.3%	26	2.4%		14	1.3%	-1.1%	25	2.3%		14	1.3%	-1.0%
わからない	67	6.2%		52	4.8%	-1.4%	76	7.0%		63	5.8%	-1.2%	78	7.2%		78	7.2%	0.0%

⑫HIV・エイズに関する情報に関して、知っているものをこの中からいくつでもあげてください。

	A群 Before			A群 After			B群 Before			B群 After			C群 Before			C群 After		
--	-----------	--	--	----------	--	--	-----------	--	--	----------	--	--	-----------	--	--	----------	--	--

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

	度数	%	度数	%	増減	度数	%	度数	%	増減	度数	%	度数	%	増減
治療薬には1日1回1錠の服薬で済むものもある	93	8.6%	91	8.4%	-0.2%	79	7.3%	95	8.8%	1.5%	75	6.9%	83	7.7%	0.8%
薬の副作用はほとんどなく、通常の社会生活を送ることができる	122	11.2%	142	13.1%	1.9%	100	9.2%	131	12.1%	2.9%	105	9.7%	130	12.0%	2.3%
適切な治療を行えば、HIVに感染しても、感染していない人と同じ寿命を生きることができる	305	28.1%	342	31.5%	3.4%	246	22.7%	281	25.9%	3.2%	304	28.0%	322	29.7%	1.7%
適切に治療することにより、他の人へ感染させる危険性を減らすことができる	318	29.3%	332	30.6%	1.3%	274	25.3%	313	28.9%	3.6%	313	28.9%	334	30.8%	1.9%
治療方法は進歩しているが、完治させることはできず、薬を飲み続けなければならない	265	24.4%	310	28.5%	4.1%	270	24.9%	293	27.0%	2.1%	266	24.5%	282	26.0%	1.5%
全て知らない	327	30.1%	262	24.1%	-6.0%	355	32.7%	289	26.7%	-6.0%	305	28.1%	276	25.5%	-2.6%
その他	5	0.5%	3	0.3%	-0.2%	2	0.2%	2	0.2%	0.0%	3	0.3%	7	0.6%	0.3%
わからない	193	17.8%	204	18.8%	1.0%	214	19.7%	215	19.8%	0.1%	222	20.5%	226	20.8%	0.3%

⑬もし仮に、あなたご自身が HIV に感染したかもしれないと思った場合、どのような行動をとると思いますか。

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減
診療所や病院で相談する	340	31.3%	270	24.9%	-6.4%	319	29.4%	288	26.6%	-2.8%	316	29.2%	265	24.4%	-4.8%			
保健所などの相談窓口で相談する	190	17.5%	235	21.6%	4.1%	174	16.1%	238	22.0%	5.9%	162	14.9%	240	22.1%	7.2%			
診療所や病院で検査を受ける	232	21.4%	219	20.2%	-1.2%	268	24.7%	210	19.4%	-5.3%	256	23.6%	199	18.4%	-5.2%			
保健所で検査を受ける	145	13.4%	203	18.7%	5.3%	166	15.3%	170	15.7%	0.4%	164	15.1%	194	17.9%	2.8%			
民間協力団体（NGO・ボランティア）の相談窓口で相談する	25	2.3%	23	2.1%	-0.2%	19	1.8%	22	2.0%	0.2%	23	2.1%	22	2.0%	-0.1%			
何もしない	18	1.7%	16	1.5%	-0.2%	8	0.7%	17	1.6%	0.9%	16	1.5%	18	1.7%	0.2%			
その他	4	0.4%	4	0.4%	0.0%	3	0.3%	1	0.1%	-0.2%	5	0.5%	8	0.7%	0.2%			
わからない	132	12.2%	116	10.7%	-1.5%	127	11.7%	138	12.7%	1.0%	142	13.1%	138	12.7%	-0.4%			

⑭ HIV 検査は全国の保健所において、匿名でまた、無料で受けることができることを知っていますか。

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減
知っている	409	37.7%	484	44.6%	6.9%	363	33.5%	422	38.9%	5.4%	402	37.1%	478	44.1%	7.0%			
知らない	677	62.3%	602	55.4%	-6.9%	721	66.5%	662	61.1%	-5.4%	682	62.9%	606	55.9%	-7.0%			

⑮これまであなたには HIV 検査を 1 度でも受けたことがありますか。

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減	度数	%	増減
はい	100	9.2%	108	9.9%	0.7%	72	6.6%	90	8.3%	1.7%	91	8.4%	101	9.3%	0.9%			
いいえ	944	86.9%	933	85.9%	-1.0%	972	89.7%	949	87.5%	-2.2%	942	86.9%	928	85.6%	-1.3%			
わからない	33	3.0%	39	3.6%	0.6%	33	3.0%	37	3.4%	0.4%	41	3.8%	42	3.9%	0.1%			
答えたくない	9	0.8%	6	0.6%	-0.2%	7	0.6%	8	0.7%	0.1%	10	0.9%	13	1.2%	0.3%			

⑯あなたが HIV 検査を直近で受けたのはいつ頃ですか。

	度数	%	増減

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
 分担研究報告書

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
n(Total)	100	100.0%		108	100.0%	0.0%	72	100.0%		90	100.0%	0.0%	91	100.0%		101	100.0%	0.0%
1年未満	8	8.0%		8	7.4%	-0.6%	6	8.3%		5	5.6%	-2.7%	9	9.9%		8	7.9%	-2.0%
1～3年未満	6	6.0%		11	10.2%	4.2%	5	6.9%		8	8.9%	2.0%	7	7.7%		12	11.9%	4.2%
3年以上前	81	81.0%		86	79.6%	-1.4%	59	81.9%		75	83.3%	1.4%	74	81.3%		79	78.2%	-3.1%
わからない	2	2.0%		3	2.8%	0.8%	1	1.4%		2	2.2%	0.8%	1	1.1%		2	2.0%	0.9%
答えたくない	3	3.0%		0	0.0%	-3.0%	1	1.4%		0	0.0%	-1.4%	0	0.0%		0	0.0%	0.0%

⑩ HIV の検査を受けたい（費用の負担は考慮しないで答え下さい）

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
思う	46	4.2%		49	4.5%	0.3%	39	3.6%		34	3.1%	-0.5%	42	3.9%		34	3.1%	-0.8%
やや思う	125	11.5%		130	12.0%	0.5%	137	12.6%		132	12.2%	-0.4%	131	12.1%		144	13.3%	1.2%
あまり思わない	372	34.3%		399	36.7%	2.4%	356	32.8%		349	32.2%	-0.6%	357	32.9%		348	32.1%	-0.8%
思わない	475	43.7%		432	39.8%	-3.9%	482	44.5%		501	46.2%	1.7%	489	45.1%		495	45.7%	0.6%
わからない	68	6.3%		76	7.0%	0.7%	70	6.5%		68	6.3%	-0.2%	65	6.0%		63	5.8%	-0.2%

⑪ 職場の健診で、HIV の血液検査を実施してほしい（費用の負担は考慮しないで答えください）

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
思う	66	6.1%		70	6.4%	0.3%	60	5.5%		59	5.4%	-0.1%	62	5.7%		62	5.7%	0.0%
やや思う	198	18.2%		211	19.4%	1.2%	199	18.4%		211	19.5%	1.1%	233	21.5%		211	19.5%	-2.0%
あまり思わない	344	31.7%		343	31.6%	-0.1%	346	31.9%		343	31.6%	-0.3%	300	27.7%		304	28.0%	0.3%
思わない	400	36.8%		358	33.0%	-3.8%	383	35.3%		367	33.9%	-1.4%	387	35.7%		401	37.0%	1.3%
わからない	78	7.2%		104	9.6%	2.4%	96	8.9%		104	9.6%	0.7%	102	9.4%		106	9.8%	0.4%

⑫ 職場で HIV やエイズの啓発資料を配布してほしい

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
思う	67	6.2%		72	6.6%	0.4%	67	6.2%		70	6.5%	0.3%	64	5.9%		76	7.0%	1.1%
やや思う	280	25.8%		309	28.5%	2.7%	304	28.0%		283	26.1%	-1.9%	291	26.8%		277	25.6%	-1.2%
あまり思わない	359	33.1%		335	30.8%	-2.3%	336	31.0%		349	32.2%	1.2%	336	31.0%		334	30.8%	-0.2%
思わない	296	27.3%		272	25.0%	-2.3%	289	26.7%		281	25.9%	-0.8%	299	27.6%		279	25.7%	-1.9%
わからない	84	7.7%		98	9.0%	1.3%	84	7.7%		101	9.3%	1.6%	94	8.7%		118	10.9%	2.2%

⑬ 一緒に仕事をしている人が HIV に感染していたら、自分に感染するのではないかと不安に思う

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
思う	77	7.1%		75	6.9%	-0.2%	94	8.7%		94	8.7%	0.0%	87	8.0%		74	6.8%	-1.2%
やや思う	302	27.8%		295	27.2%	-0.6%	308	28.4%		311	28.7%	0.3%	283	26.1%		308	28.4%	2.3%
あまり思わない	347	32.0%		347	32.0%	0.0%	324	29.9%		350	32.3%	2.4%	335	30.9%		326	30.1%	-0.8%
思わない	292	26.9%		297	27.3%	0.4%	286	26.4%		255	23.5%	-2.9%	295	27.2%		301	27.8%	0.6%
わからない	67	6.2%		72	6.6%	0.4%	72	6.6%		74	6.8%	0.2%	84	7.7%		75	6.9%	-0.8%

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
 分担研究報告書

②一緒に仕事をしている人が HIV に感染していたら、なるべく接触しないようにしよう
 と思う

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
思う	92	8.5%		90	8.3%	-0.2%	119	11.0%		128	11.8%	0.8%	96	8.9%		110	10.1%	1.2%
やや思う	325	29.9%		311	28.6%	-1.3%	353	32.6%		345	31.8%	-0.8%	354	32.7%		316	29.2%	-3.5%
あまり思わない	337	31.0%		351	32.3%	1.3%	301	27.8%		311	28.7%	0.9%	321	29.6%		309	28.5%	-1.1%
思わない	223	20.5%		244	22.5%	2.0%	227	20.9%		207	19.1%	-1.8%	228	21.0%		252	23.2%	2.2%
わからない	109	10.0%		90	8.3%	-1.7%	84	7.7%		93	8.6%	0.9%	85	7.5%		97	8.9%	1.4%

②一緒に仕事をしている人が HIV に感染していたら、同性愛者・不特定多数との性交渉者・薬物中毒者ではないか等、誤った偏見の目で見えちゃうと思う

	A 群 Before			A 群 After			B 群 Before			B 群 After			C 群 Before			C 群 After		
	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減	度数	%		度数	%	増減
思う	79	7.3%		62	5.7%	-1.6%	84	7.7%		89	8.2%	0.5%	84	7.7%		99	9.1%	1.4%
やや思う	347	32.0%		376	34.6%	2.6%	379	35.0%		367	33.9%	-1.1%	380	35.1%		343	31.6%	-3.5%
あまり思わない	313	28.8%		314	28.9%	0.1%	312	28.8%		329	30.4%	1.6%	301	27.8%		301	27.8%	0.0%
思わない	236	21.7%		219	20.2%	-1.5%	214	19.7%		198	18.3%	-1.4%	224	20.7%		224	20.7%	0.0%
わからない	111	10.2%		115	10.6%	0.4%	95	8.8%		101	9.3%	0.5%	95	8.8%		117	10.8%	2.0%